



～水土里情報を活用した現地調査システムについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネットなら

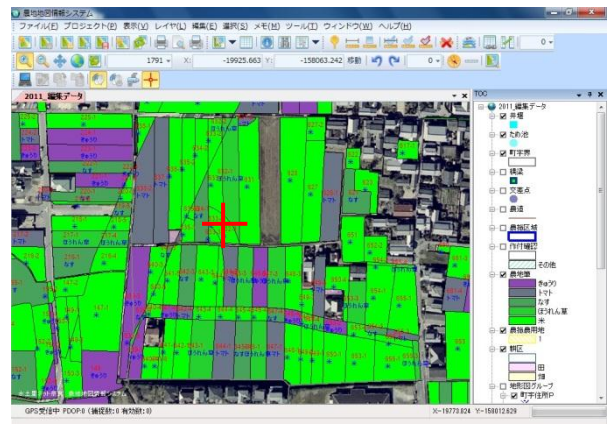
取組概要

内容

水土里情報利活用促進事業で整備した航空写真オルソデータ、農地筆図、耕区図等を活用した、効率的な現地調査業務について。

経緯

- ①市町村は、作付確認、耕作放棄地調査等の現地調査確認業務を行います。
- ②これらの現地調査を行うためには、毎年現地調査用資料を作成し、多大な労力や時間を費やしていました。
- ③さらには、市町村合併に伴い現地調査範囲が広域化したため、対象農地が把握しづらい状況(土地勘不足)になっていました。
- ④このような背景から、現地調査用の資料を迅速に作成でき、現地調査対象農地を迅速に把握することができるシステムが望まれていました。
- ⑤そのため、奈良県土地改良事業団体連合会では、現地調査用資料を簡単に現地に持参でき、かつ現地調査の場所を簡単に把握できるシステムとして、GPSと農地地図情報システムを連携させた現地調査用システムを開発しました。



期待される効果

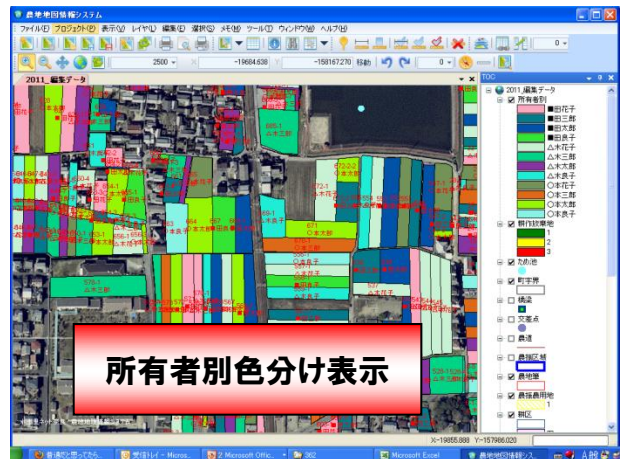
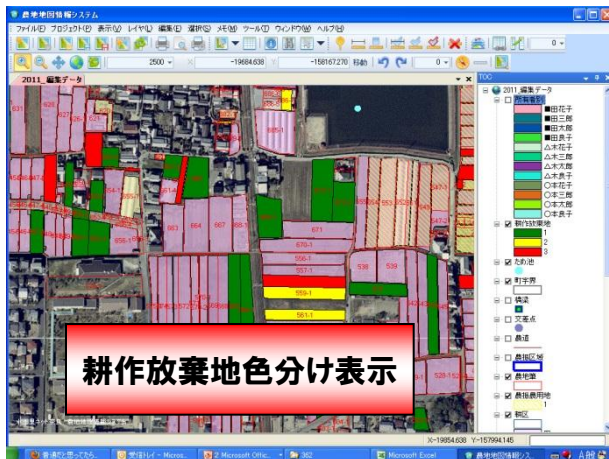
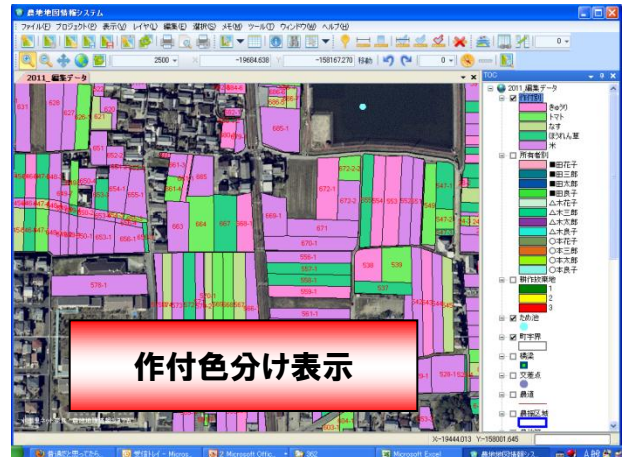
本システムの運用において期待される効果は以下の通りです。

- ①調査用資料作成の労力や時間が軽減できます。
- ②GPSにより、正確な現在位置が把握できます。
- ③現地で情報を入力するため、現地調査結果を迅速かつ的確に反映できます。

今後の活用予定

今後は、農地基本台帳データ(個人情報)と連携を図ることにより、現地調査に必要な情報の入力を簡略化することが可能になります。また、現地調査業務においても詳細な調査が可能となります。

- ①農地転用の管理業務
- ②耕作放棄地管理業務
- ③農地のパトロール業務
- ④人・農地プラン作成業務
- ⑤担い手の育成・管理業務
- ⑥請負耕作・農作業委託管理業務



■お問い合わせ先

奈良県土地改良事業団体連合会 農地地図情報センター 0742-26-1310(代表)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)